

ステップ



2学年通信
2017年6月30日
第4号
発行：奈良綾子

☆HOP STEP JUMP 弾みをつけて 高く跳ぼう☆

夏・総体!



夏の岡山よいだり

三百の物の若鳥耳ふかれけり

与謝野晶子

3年生の修学旅行が無事終わり（悪天候のため帰着の時間が遅くなり心配はしましたが）、期末試験も終了し、いよいよ総体の季節となりました。3年生にとっては最後の総体です。悔いのない夏にしてほしいものです。そのために、2年生として、最大限3年生をサポートしたい。試合には出ず、応援席にいれば、声を限りに応援したい。試合を迎えるまでの練習の日々を大切に過ごしてほしいと思います。ましてや、選手として出場できる2年生であるならば、自分ができる精一杯をすることが大事なことでないでしょうか。引退していく3年生に、あなたがたなら大丈夫と太鼓判を押してもらえよう、頑張れ、2年生。



職場体験場所が決定しました



先日、9月21日に行われる職場体験先が決定しました。全部で31ヶ所に分かれて当日は活動することになりました。それまでに、準備しなければならないこと、学ばなければならないことがたくさんあります。お忙しい中で受け入れていただいた職場に失礼にならないようにしっかり準備したいものです。

これでいいの?

「もう2年生だから、勉強しないといけない。」そう言って、昼休みを使って、問題集に取り組んだり、先生に質問したりする姿が見られるのが、2年生の昼休みの風景です。外ではサッカーをしたり、追いかけてっこをしたりと、これまた健康的です。

ところが、「もう2年生だから」をはき違えているのか、不要物を学校に持ってきて注意される人が少なからずいます。赤い靴下やピンクの靴下をはいてきてしまう人がいます。朝練のない日などに、「うっかり」遅刻してしまう人がいます。給食当番や掃除当番をしっかりやらない人がいます。これでいいのでしょうか。「自分だけ」とか、「少しだけ」とか、言い訳はいくらでもできます。「自分だけ」よければいいのですか? 「少しだけ」はこの次の「少しだけ」につながっていきます。「まずかった。」と思える人と「これぐらいいいか。」と思う人の差はとてとても大きいのです。



次世代を担う一人として



総合の時間を使って、約一か月かけて取り組んできた平和学習も、いよいよ発表の段階となりました。初めは資料探しに四苦八苦していたみなさんでしたが、限りある時間と資料を駆使して、見ごたえのある新聞を作成することができました。人によって取り組んだテーマが違いますので、クラスメイトの発表も興味を持てるものとなったのではないのでしょうか。また、今回の取り組みを通して平和の尊さを改めて実感できたことと思います。8月は、新聞やテレビなどでも戦争に関連したドラマや特集が組まれたりすることもあるので、意識してみたいはいかがでしょうか。

わたしのせいじゃない —せきんにについて—

各クラスで行われた「わたしのせいじゃない—せきんにについて—」の授業で、みんなが感じたことをご紹介します。「いじめ」は他人ごとではないのです。少しの勇氣が必要です。

今日の授業で「いじめ」は直接危害を加えている人だけでなく、見ていて何もしなかったり、できなかったりした人にも責任はあるんだと思いました。その場の空気でも人に危害を加えてしまうのもだめだし、そこで黙ってみているのもだめだから、ほんの少しの“勇氣”が必要なんだなと思いました。「いじめ」というのは危害を加えた人もそうだけれど、見ていて何もできないのも「いじめ」なんだと今回の授業で学びました。



いじめは、やっている人がやめるのを待つのではなく、見ている人が止めることが大事だと考えた。僕もやっている人を止められるようになれるようにしたい。

「いじめ」をやっている側も悪いけれど、見ている子が、見ていただけではなくて、助けてあげたり、相談に乗ってあげたり、その子と一緒にいてあげるだけでも、いじめめる子が止めたりすることもあるかもしれない。見ている子が少しでもいじめられている子の味方に付いてあげればよかったんじゃないかな。

